

「小さなおばけ」から「魔女の宅急便」まで



© Eiko Kadono, Yoko Sasaki / POPLAR



© Eiko Kadono, Yoko Sasaki / POPLAR



国際アンデルセン賞受賞記念展

角野栄子の魔女

令和2年 **7.26** 日 → **9.13** 日

開館時間／9:30～18:00(観覧受付は17:30まで)

休館日／毎週火曜日 ※7月27日(月)、8月11日(火)は開館

観覧料／一般500円(400円)、大学生250円(200円)、

前売り・一般400円(裏面をご覧ください)

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

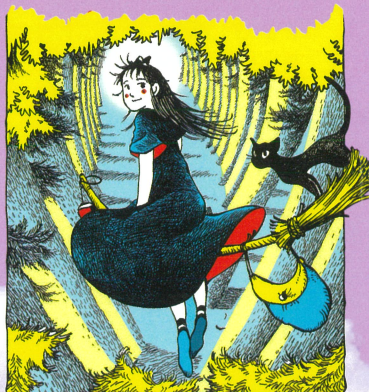
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 共催／北日本放送 後援／富山新聞社

特別協力／角野栄子オフィス

協力／こどもの広場、ポプラ社、福音館書店



Illustrations © Miho Satake / FUKUINKAN

高志の国
文学館

KOSHINOKUNI
Museum of Literature



Illustrations © Miho Satake / FUKUINKAN

「誰でも魔法をひとつは持っている」との思いを込め、角野栄子が24年にわたり描き続けた「魔女の宅急便」。主人公キキの成長を描きながら、様々な人々との出会いの中で微妙に動く心情を鮮やかに映し出した世界は、読者に大きな感動を与えています。

また、1979年の『スパゲッティがたべたいよう』を皮切りとする「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」は現在も刊行が続き、すでに42作を数える人気シリーズとなっています。

2018年には児童文学への永続的な寄与に対して贈られる「国際アンデルセン賞・作家賞」を、まど・みちお、上橋菜穂子に続く日本人3人目として受賞。80歳を超えてなお創作意欲は盛んで、作品は子どもだけでなく幅広い世代から親しまれています。



Illustrations © Miho Satake / FUKUINKAN

トピック 1

創作の秘密をのぞき見!

貴重な原稿やノートが見られるよ。
物語が生まれる瞬間を感じてみて。

トピック 2

絵本画家11人の描く魔女が一堂に!

絵本「魔女からの手紙」の原画がたくさん。
見比べてみてね。

「小さなおばけ」の クイズにチャレンジ!

文学館の庭にアッチと仲間たちが隠れているよ。
探してみてね。

「魔女の宅急便」の 世界を体験!

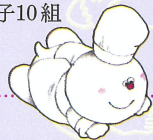
キキの住む部屋や
コリコの町の
イメージを再現したよ。

角野栄子先生からの ビデオメッセージ!

企画展のためだけの
オリジナルメッセージ。
会期中いつでも聞けるよ。

1 佐竹美保ワークショップ「描いてみよう、わたしは魔女ーなにに乗って飛ぶ?」

講師/佐竹 美保氏(画家)
日時/8月29日(土) ①10:30~11:30 ②13:30~14:30
会場/当館研修室101
対象/中学生以上(但し中学生以上の方と同伴の場合は、小学生も可)
◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員/各回親子10組
☆イベント終了後に佐竹先生のサイン会を実施します。(サイン会のみ参加可)



・10組ずつ、2グループに分けて実施します。募集定員に達し次第、締め切らせていただきます。
・佐竹先生によるアドバイスのあと、参加者それぞれの思い描く「魔女」を1枚の大きな紙に自由に描いていただきます。描いた絵は会期中会場内に展示させていただきます。
・黒い絵の具、黒マジックなどのほか、太く描けるもの(たわしや歯ブラシなど)と、汚れても良いエプロンをご持参ください。

© Eiko Kadono, Yoko Sasaki / POPLAR



2 作品募集

・会期中、作品を募集します。ご応募いただいた作品は、会場内に掲示、もしくはスライドにて上映し、ご紹介させていただきます。なお、原則として、作品のご返却はいたしません。
・右記テーマのうち、いずれかの作品をご応募ください。

- A **ねえねえ聞いて! 魔女への手紙**
魔女に聞いてほしいお話を、絵と文で。
- B **あったらいいな! 私の食べてみたいおばけ料理**
料理のイラストとメニュー名、簡単な説明を添えて。
- C **みんなに見せて! トヤママジヨ コレクション 2020**
年齢、性別は不問。
思い思いの「魔女」に変装し、写真を郵便で。

補足A・B 応募方法は会場内設置のポスト投函、もしくは郵送となります。応募用紙は会場内に設置してあるもの、もしくは文学館ホームページから様式をダウンロードの上、印刷してご利用ください。会場内のポストからご応募いただいた方には、その場で特製ポストカードをプレゼントします。

補足C 応募方法は郵送のみとなります。「魔女ネーム」を添え、下記の係へお送りください。
<送り先>「高志の国文学館 角野展マジヨ・コレ係」

3 コラボレーション企画「アッチ Café de シェ・ヨシ」

小さなおばけシリーズに登場するアッチのおばけ料理を、文学館に併設するシェ・ヨシの毛利義信シェフがアレンジして再現。会期中、ランチボックスなどのテイクアウトメニューで楽しむことができます。※事前予約制となります。

4 展示担当者によるスライド・ビュー(展示解説)

日時/①8月11日(火) ②8月30日(日) ③9月12日(土)
各回14:00~(30分程度)
会場/当館研修室101 ◎申込必要 ◎参加無料

[申込方法] 電話・FAXにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。
※定員に達し次第募集を終了します。※FAXの場合、定員に達してご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

当館では万全の感染予防措置を行い、皆様のご来館をお待ちいたしております。本展覧会では、新型コロナウイルス感染予防のため、以下の点についてお守りいただくようお願い申し上げます。①マスクを着用し、咳エチケットの順守にご協力ください。②咳や発熱など、風邪の症状が見られる方は、ご来場をお控えください。



高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature

〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL.076-431-5492 FAX.076-431-5490
http://www.koshibun.jp/



利用のご案内

〈開館時間〉9:30~18:00(観覧受付は17:30まで)
〈休館日〉毎週火曜日 ※7月27日(月)、8月11日(火)は開館
〈観覧料〉一般500円(400円)、大学生250円(200円)、前売り・一般400円
〔お求めは高志の国文学館、アツナビで。文学館受付にてチケットに引き換えます。〕
※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

交通のご案内

●JR・あいの風とやま鉄道 富山駅南口から/◎市内電車「富山駅」のりばから大学前行または環状線「県庁前」下車、徒歩5分 ◎徒歩15分 ◎コミュニティバスまいどはや(中央ルート)「サンシップとやま・高志の国文学館」下車、徒歩2分 ◎ぐるっとBUS(北西回りルート)「高志の国文学館」下車
●富山空港から/◎タクシー 約20分
●北陸自動車道富山ICから/◎自動車 約20分



次回企画展予告

「映画監督 滝田洋二郎展」
令和2年9月19日(土)~11月30日(月)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

